

久留米市第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 成果指標

1 総合成果指標の設定（案）

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の全体の進捗状況、評価を表す指標の設定は困難なため、第8期計画では総合成果指標の設定は行わない。

《参考 第7期》

指標名	現状	目標
住みやすいと思う60歳以上の人の割合	83.1% (H28 市民意識調査)	90.0% (H31 市民意識調査)

2 まちの姿成果指標（案）

まちの姿ごとに、市民意識調査や介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用して、定性的指標（アウトカム指標）を2つずつ設定する。

(1) 自分の力を活かして、健康で自立した生活ができるまち

【第8期（案）】

指標名	現状	目標
健康であると回答した60歳以上の人の割合	71.2% (R1 市民意識調査)	75.0% (R4 市民意識調査)
健康づくり活動や趣味等のグループ活動に「参加者として」参加したい高齢者の割合	48.6% (R1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	53.0% (R4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

《参考 第7期》

指標名	現状	目標
週に2回、1日30分以上、運動する60歳以上の人の割合	43.4% (H28 市民意識調査)	48.0% (H31 市民意識調査)

(2) 見守り、支え合いの心が生きるまち

【第8期(案)】

指標名	現状	目標
地域での支え合いや助け合いが充実していると回答した60歳以上の人の割合	63.8% (R1 市民意識調査)	67.0% (R4 市民意識調査)
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手で「そのような人はいない」と回答した高齢者の割合	27.7% (R1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	25.0% (R4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

《参考 第7期》

指標名	現状	目標
協議体(支え合い推進会議)の設置数	5校区 (H28)	35校区 (H31)

(3) 安全に、安心して暮らし続けることができるまち

【第8期(案)】

指標名	現状	目標
安全で安心して暮らせるまちだと回答した60歳以上の人の割合	81.7% (R1 市民意識調査)	85.0% (R4 市民意識調査)
地域包括支援センターが高齢者の総合相談窓口であることを知っている一般高齢者(※)の割合	40.9% (R1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	50.0% (R4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

一般高齢者・・・高齢者のうち、要介護、要支援認定を受けていない人

《参考 第7期》

指標名	現状	目標
住みやすいと思う理由で、医療や福祉が充実しているを選択した60歳以上の人の割合	45.2% (H28 市民意識調査)	48.0% (H31 市民意識調査)